



新小岩幼稚園・未就園児クラス

アドバイザー 猪之鼻晴子

『 失敗を怖がらない 』

「うわー、またやっちゃった。」

自分の理想とはかけ離れた行動をしてしまう。今日も失敗。
「母塾」などとママたちに話をしたり、書いたりしていても子育てのお手本ではないです。
私はただの見本です。それもかっこ悪くて真似の仕様のない見本です。

「洗濯物に囲まれながら、こどもたちとケンカし、泣き、悩み、くじけながらも
23年間子育てする毎日がイヤにならなかつたのはなぜだろう？」と
先週の長男の23歳の誕生日に考えてみました。

「もしかしたら、失敗も楽しんでいるからかもしれない。」

私が話すことはほぼ100%が子育てにまつわる失敗談です。
「本当にあの時は泣いた。」「あの時はもう終わりだと思った。」ということです。
こうすれば子どもたちが東大に合格します。」「こうして一流プレーヤーに育てました。」
という話ではありません。かっこ悪い子どもたちとの毎日の体験です。
「じゃ、どうして大変なのにイヤにならないんだろう。」
「困ったことが次々やってくるのになんで23年懲りないんだろう。」
「なんで何人も産もうと思ったんだろう。」
そう疑問に思ってもらえるだけでいいと思っています。

子どもたちに私が伝えたいことはたくさんはありません。
「失敗を怖がらないで。」ということです。

子どもも大人も同じではないでしょうか。
成長するということは失敗失敗の連続の中に分かりにくい成功が隠れています。
そして、失敗にこそその人の成長が見えます。

おむつをしたままでは、失敗はないけれどずっとおむつです。
ずっと三輪車のままでは転ばないけれど、自転車には乗れるようになりません。
ずっと教習所の中にいたのでは、一般道は走れません。
人と関わらないと、友だちはできません。
答を間違えないと、正解はわかりません。

子育ても間違え間違えしながら、ママになっていくのではないのでしょうか。
子育ての正解が何かはわかりませんが、試行錯誤して子どもと関わることを
やめないで続けていくことが毎日の答え合わせなのだと思います。

23年間を振り返って思い出すのは、恥ずかしい失敗の数々です。
子どもたちに「ごめんね。」と、懲りない自分に「よくやるね。」と言いたいです。